

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭56—11136

⑤ Int. Cl.<sup>3</sup>  
B 60 N 1/08

識別記号

庁内整理番号  
7438—3B

⑬ 公開 昭和56年(1981)1月30日

審査請求 未請求

(全 1 頁)

⑭ 自動車シート移動用送り装置のナット組立体構造

藤沢市亀井野3215

⑯ 考案者 国吉民生

川崎市中原区下沼部1930

⑰ 実 願 昭54—93278

⑰ 出 願 人 自動車電機工業株式会社

⑱ 出 願 昭54(1979)7月6日

横浜市戸塚区東俣野町1760番地

⑲ 考 案 者 川上祐彦

⑳ 実用新案登録請求の範囲

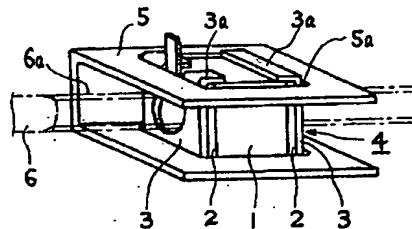
駆動軸に設けたねじ部に係合するナットの軸方向端面に調芯用の弾性部材を介しリテーナを配設したナット組立体をナットハウジング内に配置させた自動車シート移動用送り装置において、前記リテーナの外周に設けた爪を弾性部材を介したナットに係合させてナット組立体を構成させたことを特徴とする自動車シート移動用送り装置のナット組立体構造。

図面の簡単な説明

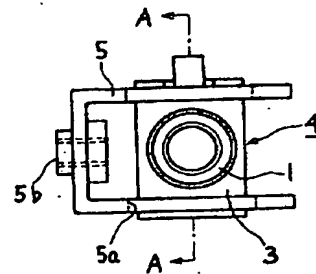
図は本考案の一実施例を示すもので、第1図は斜視図、第2図は正面図、第3図は第2図のA—A断面図である。

1……ナット、2……弾性部材、3……リテーナ、3a……爪、4……ナット組立体、5……ナットハウジング、5a……嵌合孔、6……駆動軸、6a……ねじ部。

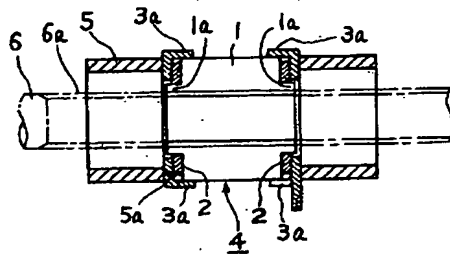
第1図



第2図



第3図



昭和54年実願第89690号(実開昭56-8543号、昭和56年1月24日発行公開実用新案公報56-86号掲載)については実用新案法第55条第2項において準用する特許法第17条の2の規定による補正があつたので下記のとおり掲載する。

Int.Cl. <sup>3</sup>	識別記号	庁内整理番号
B 60 R 1/06		7443-3D
F 16 M 11/18		7191-3G

記

1 実用新案登録請求の範囲を次のように補正する。

⑦実用新案登録請求の範囲

アウトサイドミラー本体と、そのアウトサイドミラー本体に一侧縁部を固定した第1ヒンジ部材と、車体に一侧縁部を固定した第2ヒンジ部材と、第3ヒンジ部材とを備え、前記第1ヒンジ部材の他側縁と前記第2ヒンジ部材の他側縁に前記第3ヒンジ部材の両側縁をそれぞれ回動自在に枢支し、かつ、前記第1ヒンジ部材と第3ヒンジ部材とに前記ミラー本体に前方乃至斜め前方または後方乃至斜め後方の内何れか一方から外力がかかると外れる第1ストッパー機構を設け、一方前記第2ヒンジ部材と第3ヒンジ部材とに前記ミラー本体に前述とは反対方向から外力がかかると外れる第2ストッパー機構を設けたことを特徴とする自動車用アウトサイドミラー。

昭和54年実願第93278号(実開昭56-11136号、昭和56年1月30日発行公開実用新案公報56-112号掲載)については実用新案法第55条第2項において準用する特許法第17条の2の規定による補正があつたので下記のとおり掲載する。

Int.Cl. <sup>3</sup>	識別記号	庁内整理番号
B 60 N 1/08		8008-3B

記

1 実用新案登録請求の範囲を次のように補正する。

⑦実用新案登録請求の範囲

駆動軸に設けたねじ部に係合するナットの軸方向端面に調芯用の弾性部材を介してリテーナを配設したナット組立体をナットハウジング内に配置させた自動車シート移動用送り装置において、前記リテーナの外周に設けた爪を前記ナットに係合し、該リテーナを前記弾性部材を介して該ナットの軸方向端面に保持してナット組立体を構成すると共に、該ナット組立体を前記ナットハウジングに設けた嵌合孔に係合させたことを特徴とする自動車シート移動用送り装置のナット組立体構造。

2 図面を次のように補正する。

